出資募集情報

● 本匿名組合契約名称	有田川町木質バイオマス発電事業B号匿名組合 (愛称:【有田川町】地域資源循環型「木質バイオマス発電ファンド」)
● 営業者	有田川バイオマス株式会社(和歌山県有田郡有田川町大字修理川字西加九鬼126番地)
● 出資金募集最大総額	5,000,000円(250口)　申込上限口数:20口 1口金額20,000円(出資金:20,000円　取扱手数料:0円) ※エントライへの会員登録及び申込の代行入力をご希望の方は、15口以上出資される場合に対応しております。 その場合は1件あたり別途3,300円(税込)の事務手数料をいただきます。
● 資金使途	和歌山県産未利用材購入費用
● 募集受付期間	2022年10月12日～12月31日 ※この期間中であっても、出資金額が出資金募集最大総額に達した場合は、 そのときをもちまして出資の募集を終了します。
● 会計期間	3年
● 目標償還率	103.81%
● 事業計画売上金額	3年間で793,875,000円の累計売上金額を目標とし、達成時には償還率103.81%(源泉徴収後償還率103.04%)になります。出資金額に対する損益分岐となる累計売上金額は555,555,558円になります。本事業計画は売上金額及び分配金額を保証するものではなく、元本が毀損するリスクがあります。
● 投資家特典	1口ご出資ごとに「かなや明恵峡温泉 入浴チケット2枚(1,400円相当)」を贈呈。 さらに、5口以上ご出資の方に「【きとら農園】桑の葉茶(60g)(税込1,480円相当)」「【きとら農園】粉山椒「ぶどう山椒」(3g×2袋)(税込960円相当)」「【カネイワ醤油本店】150mℓ小瓶お試し2本セット(税込799円相当)」をセットにして贈呈。

融資・出資・燃料供給企業

● 融資	株式会社紀陽銀行、日本政策金融公庫
● 出資	有限会社原見林業、川口建設株式会社、シン・エナジー株式会社 竹上木材株式会社、中部電力株式会社、株式会社JR西日本イノベーションズ
● 燃料供給	双日建材株式会社

プロジェクトの詳細は、インターネットでご覧いただけます

エントライ　有田川バイオマス

https://www.en-try.jp/funds/93

お申込みの流れ　プロジェクト選択 ▶ 会員登録 本人確認資料の提出 ▶ 出資申込み ▶ ご入金

en.try「エントライ」は金融の仕組みを通じて、一つひとつのプロジェクトアセットへの「投資」で地域を応援できるプラットフォームサイトです。

お問い合わせ　PLUS SOCIAL Investment　プラスソーシャルインベストメント株式会社
075-257-7814　customer@en-try.jp

当社は、「集団投資スキーム(ファンド)」を、投資の社会性をより強調するため「プロジェクトアセット」と呼んでいます。本プロジェクトアセットには、出資金の元本が割れる等のリスクや、契約期間中の解約・譲渡はできない等の留意点がありますので、匿名組合説明書・契約書をよくお読みの上、お申込みください。本プロジェクトアセットの募集の取扱いは、プラスソーシャルインベストメント株式会社(PSI社)(第二種金融商品取引業者:近畿財務局長(金商)第396号、加入協会:一般社団法人第二種金融商品取引業協会)に委託されているため、申込手続はPSI社が運営するWEBサイト「エントライ」にて行って頂く必要があります。

有田川バイオマス発電所

100%和歌山県産の未利用材を活用

【有田川町】地域資源循環型
「木質バイオマス発電ファンド」

正式名:有田川町木質バイオマス発電事業B号匿名組合

地域のための発電所を応援いただける方を募集します！

出資説明会
in有田川町
開催決定！

日時　2022年11月6日(日)
14:00～16:00

場所　きびドーム(多目的研修室)
※オンラインからもご参加いただけます

詳細、申込はこちら
https://www.en-try.jp/funds/93

有田川バイオマス株式会社

発電所を基軸に“森林整備”から地域に“付加価値”を創出

100%和歌山県産の未利用材を活用
【有田川町】地域資源循環型「木質バイオマス発電ファンド」

和歌山県の森林の占める割合※1

森林面積：361,328ha　森林率：76%

2022年10月13日、和歌山県有田川町に「有田川木質バイオマス発電所」が誕生いたしました。
和歌山県は森林率が全国で第8位という豊富な森林資源を有しています。しかし、急峻な地形により伐採が容易でないことや、木材の買取価格が年々下落してきたなどの理由から、近年は林業が低迷しつつありました。
本発電事業は、100%和歌山県産の森林資源を活用し林業の活性化に寄与するだけでなく、発電所から生まれる副産物を、地域資源として利活用することで地域経済の発展、循環など多くのメリットをもたらす地域貢献型の発電所です。
本ファンドでは発電する際に必要となる燃料として「和歌山県産未利用材購入費用」の一部を募集いたします。

※1:林野庁: 都道府県別森林率・人工林率(平成29年3月31日現在)

本プロジェクトに出資いただくと地域貢献につながる！

有田川 エコプロジェクト
Designed by Shota KAKIUCHI

バイオマス発電所を基軸に有田川エコプロジェクトに貢献します

有田川バイオマス発電所を基軸に、再生可能エネルギーの普及、林業の活性化、温浴施設での熱利用、農業の活性化、木質燃料の地域利用などの幅広い分野で、「有田川エコプロジェクト[※2]」へ貢献します。

林業の活性化につながります

発電所へ安定的に木材供給(約1万トン/年)を行うことで、林業の活性化につながります。また、森林を適切に維持管理することで、洪水や土砂災害の起きにくい正常な森林の実現に寄与します。

温浴施設に熱の供給を行います

発電する際に生まれる“熱”の一部は隣接する「かなや明恵峡温泉」に供給しています。これまで、同施設では温泉水の温めに化石燃料由来の電気を使用していましたが、“熱”による温めに代替いたしました。

農業の活性化に寄与します

発電所で副産物として生まれる“チャー(炭)”を肥料化することで地域での農業利用を目指します。
海外産肥料や化学肥料に頼らない、純国産肥料でのオーガニックな地域農業の実現に向けて計画しています。

木質燃料の地域利用を促進

発電する際に生まれる“熱”を木材乾燥に利用することで、水分率の低い“薪”や“木質チップ”をつくることが可能です。地域の資源としてバイオマスボイラーやストーブなどで利用いただくことを目指しています。

※2:2008年度末頃から有田川町内の「再生可能エネルギー導入促進」「ごみ分別徹底・資源化」を推進するプロジェクト

出資いただくメリット

■ 出資金募集金額

- 最大総額:5,000,000円(250口)
- 申込上限口数:20口
- 1口金額20,000円/口
  [出資金:20,000円
  取扱手数料:0円]

■ 目標償還率(会計期間:3年)

103.81% [約年利1%相当]

■ 投資家特典 (写真はイメージです)

1口ご出資ごとに贈呈

【かなや明恵峡温泉】
入浴チケット2枚
(税込1,400円相当)

さらに！5口以上のご出資で贈呈

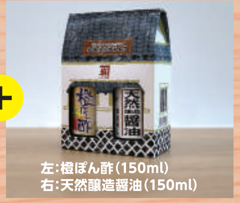
【きとら農園】
桑の葉茶(60g)
(税込1,480円相当)

＋

【きとら農園】
粉山椒「ぶどう山椒」(3g×2袋)
(税込960円相当)

＋

【カネイワ醤油本店】
150mℓ小瓶お試し2本セット
(税込799円相当)



左:橙ぽん酢(150ml)
右:天然醸造醤油(150ml)

出資者と有田川バイオマス発電所の地域活動をつなぐ仕組み

本事業は、和歌山県有田川町において
県産の豊富な森林資源を活用し発電を行う事業です。
地元関係者が出資している有田川バイオマス株式会社が主体となり
発電事業を行うことで、地域主導の意思決定が可能となりました。
「地域木質資源の適切な利用」「地域経済の循環」「新たな雇用の創出」
を促すことで、**「林業の発展」「持続可能なまちづくり」**へ貢献します。

林業活性化
【和歌山県内】林業事業体
未利用材(約10,000t/年)を購入

投資家【個人・法人】
取扱者【第二種金融商品取引業者】 PLUS SOCIAL Investment
匿名組合出資金
事業者【有田川バイオマス株式会社】 有田川バイオマス発電所
一般家庭約1,600世帯分[※3]の電力を発電
分配金・投資家特典

農業活性化：チャー(バイオ炭) → (予定) 地域農地
資源循環：チップ・薪 → (予定) 地域でのバイオマスストーブ・ボイラーなどを普及
熱供給：熱 → 【有田川町所有】かなや明恵峡温泉
再エネ：電気(FIT売電) → 関西電力送配電株式会社

※3:世帯当り4,258kWh/年で算出　出典:【環境省】令和2年度家庭部門のCO2排出実態統計調査結果の概要

メッセージ

有田川バイオマス株式会社
代表取締役
原見 健也

地域資源循環型のバイオマス発電事業を通じて、「林業の発展」「持続可能なまちづくり」に貢献し続ける

和歌山県有田川町に和歌山県産の未利用材を100%活用した「有田川バイオマス発電所」が誕生しました。
地域の未利用森林資源を活かすことで、「地域木質資源の適切な利用」「地域経済の循環」「新たな雇用の創出」を促し、「林業の発展」「持続可能なまちづくり」への貢献を目指しています。また、国土保全・地球環境保全が叫ばれる中、2050年カーボンニュートラルに貢献できるバイオマス発電所は、再生可能エネルギーの中でも有力視されています。
同発電所では、主にバイオマス(スギ・ヒノキ)の未利用材から発電するための燃料となる木質チップを生成し、乾燥させてガス化炉でガスを作り、この気体をエンジンに送り込みタービンを回し発電する仕組みです。
発電所の機械は、電気と熱の総合エネルギー効率の高いURBAS社製(オーストリア)の設備を採用しています。
同事業は、事業主体が地元関係者が出資する会社であり、地域主導の意思決定を可能としており、事業を通じて電気、熱を生み出すだけでなく、副産物までも有効活用し地域の未来に貢献し続けます。
どうか皆様方におかれましては、この趣旨をご理解いただき、多くの方々からのご出資をお願いいたします。